

令和4年度

大分県中心市街地等消費者動向調査

報告書

(概要版)

令和5年2月

大分県

目次

I 調査設計	1
II 調査結果の概要	3
1 大分県の消費動向の特徴	3
2 商品購入時に重視する点	3
3 買物の支払い方法	3
4 キャッシュレス決済の利用状況	4
5 インターネットショッピングの利用状況	4
6 コロナ禍の買い物行動の変化	4
7 居住地域の商店街の利用状況	4
III 調査結果	6
1 回答者の属性（問1）	6
2 普段の買い物について（問2）	8
(1) 商品種別の購入場所	8
①最寄品についての購入場所状況	8
②買回品についての購入場所状況	9
③専門品についての購入場所状況	10
④贈答品についての購入場所状況	11
(2) 商品種別の利用店舗形態	12
3 商品購入時に重視する点（問3）	13
4 買物の支払い方法（問4）	14
5 キャッシュレス決済（問5）	14
(1) よく利用するキャッシュレス決済手段	14
(2) キャッシュレス決済の利用頻度	15
(3) キャッシュレス決済をよく利用する店舗・サービス	15
(4) キャッシュレス決済を利用する理由	16
(5) キャッシュレス決済を利用しない理由	16
6 インターネットショッピングの利用状況（問6）	17
(1) 利用頻度	17
(2) 購入商品	17
(3) 利用していない理由	18
7 コロナ禍の買い物行動の変化（問7）	19
(1) 店舗別利用頻度	19
(2) 買い物行動の変化	19
8 居住地域の商店街の利用状況（問8）	20
(1) 利用頻度	20
(2) 商店街を利用しない理由	20

(3) 主に利用する業種.....	21
(4) 利用したい業種.....	21
(5) 充実してほしい取組.....	22

IV アンケート調査票.....	23
------------------	----

I 調査設計

1 調査の目的

県内消費者の商品を購入する行動範囲、普段の買物の利便性、キャッシュレス決済や地元の商店街の利用状況等を分析し、中小小売商業施策の基礎資料の収集を目的とする。

2 調査の方法

(1) 調査実施期間

令和4年9月21日(水)～令和4年10月21日(金)

(2) 調査対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、県内に居住する18歳以上の方6,300人を対象に実施

(3) 調査方法・回収状況

調査対象者へ郵送にて調査票を配布し、返信用封筒またはWEBサイトにて回収
有効回答数 2,168件(有効回答率 34.4%)

(表 I-1)市町村別対象者数と有効回収状況表

	配布数	有効回収数	有効回収率
県全体	6,300	2,168	34.4%
大分市	2,540	914	36.0%
別府市	650	221	34.0%
中津市	500	158	31.6%
日田市	350	124	35.4%
佐伯市	400	144	36.0%
臼杵市	200	44	22.0%
津久見市	100	28	28.0%
竹田市	100	39	39.0%
豊後高田市	150	50	33.3%
杵築市	150	49	32.7%
宇佐市	300	84	28.0%
豊後大野市	200	77	38.5%
由布市	200	66	33.0%
国東市	150	58	38.7%
姫島村	10	8	80.0%
日出町	150	33	22.0%
九重町	50	21	42.0%
玖珠町	100	34	34.0%
無回答	-	16	-

3 調査の内容

アンケート調査の内容は、回答者の属性(問1)のほか、商品種別の購入場所(問2)、商品購入時に重視する点(問3)、商品購入時の支払い方法(問4)、キャッシュレス決済について(問5)、インターネットショッピングの利用状況(問6)、コロナ禍の買い物行動の変化について(問7)、居住地域の商店街について(問8)である。(アンケート調査票参照)

4 集計について

図表中の「N」は回答者全員、「n」は限定された回答者数(母数)であり、割合(%)を算出する際の基数となる。なお、割合(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

また、本報告書で用いる「商圈」とは、地元購入率が50%以上かつ2つ以上の市町村からの流入がある市町村であり、商品種別については次のように分類した。

①最寄品(生鮮食料品・菓子類・飲料・米・調味料・台所用品・日用品・医薬品・化粧品 等)

手近に、頻繁に購入され、1回の購入単位が比較的少額で、かつ早く消費される商品であり、身近な店舗(地元の店舗)で購入されることの多い商品である。一般的には食料品や日用雑貨等に代表される。

②買回品(洋服・下着・靴下・靴・かばん・帽子・服飾品 等)

スタイル、デザイン等を重視して商品の選択を行うものであり、消費者が気に入ったものが見つかるまで探すことが多い商品である。一般的には婦人服・紳士服等の衣服や装身具等に代表される。

③専門品(家電製品・家具・インテリア・貴金属・時計・玩具・スポーツ用品・レジャー用品 等)

長期間使用し、単価も高額であるため、消費者は購入に際し、その特性、性能、品質、デザイン等を吟味して購入することが多い商品である。一般的には家庭電気製品等の耐久消費財に代表される。

④贈答品(中元・歳暮・プレゼント 等)

II 調査結果の概要

1 大分県の消費動向の特徴

地元購入率ランキングは、大分市が最寄品、買回品、専門品、贈答品の全てにおいて第1位であり、80%以上の地元購入率を占めている。中でも、最寄品は90%を超えており、高い割合となっている。中津市は4商品とも第2位であり、最寄品においては80%を超える地元購入率である。別府市は買回品、贈答品の2商品、日田市は最寄品、専門品の2商品でそれぞれ第3位であり、最寄品は第4位の別府市ともに80%を占めている。また、佐伯市も最寄品では8割弱と高い割合を占めており、その他3商品でも地元購入率が50%を超えている。ランキングの詳細は下表の通りである。

(表Ⅱ-1) 地元購入率ランキング

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位
最寄品	大分市 (n=971) (91.0%)	中津市 (n=173) (83.8%)	日田市 (n=136) (81.6%)	別府市 (n=266) (80.1%)	佐伯市 (n=178) (79.8%)	玖珠町 (n=44) (75.0%)	豊後高田市 (n=66) (71.2%)
買回品	大分市 (n=1,016) (84.6%)	中津市 (n=192) (68.2%)	別府市 (n=301) (63.1%)	日田市 (n=162) (59.9%)	佐伯市 (n=222) (55.0%)	玖珠町 (n=50) (54.0%)	豊後大野市 (n=93) (51.6%)
専門品	大分市 (n=972) (87.9%)	中津市 (n=184) (76.1%)	日田市 (n=149) (69.1%)	別府市 (n=271) (69.0%)	佐伯市 (n=207) (65.7%)	豊後大野市 (n=101) (57.4%)	宇佐市 (n=130) (52.3%)
贈答品	大分市 (n=944) (87.9%)	中津市 (n=175) (74.9%)	別府市 (n=275) (66.2%)	日田市 (n=155) (62.6%)	玖珠町 (n=44) (59.1%)	佐伯市 (n=202) (56.9%)	豊後大野市 (n=91) (53.9%)

購買力の出向状況については(図Ⅲ-2-1~4、P8~11)、最寄品は一部の市町村を除いて地元で買い物が行われている。新型コロナウイルスの影響もあってか、地元で買い物を完結させる様子が見受けられる。また、商圈の形成状況について、商品種別に見ると、最寄品は「姫島村」、「九重町」を除いては、地元で商圈が完結している。買回品、贈答品は主に大分市、別府市、中津市が商圈を形成しており、専門品は主に大分市、中津市、別府市、日田市、宇佐市が商圈を形成している。

2 商品購入時に重視する点

最寄品の購入時に重視する点については、「価格が安い」が52.7%と最も高く、次いで「商品の種類や量が豊富」(49.7%)、「近くにある」(32.1%)となっている。買回品については、「商品の種類や量が豊富」が49.6%と最も高く、次いで「値段が安い」(36.8%)、「商品の品質が良い」(33.8%)となっている。また、専門品については、「商品の種類や量が豊富」が49.1%と最も高く、次いで「商品の品質が良い」(38.9%)、「値段が安い」(31.5%)となっている。最後に、贈答品については、「商品の種類や量が豊富」が49.6%と最も高く、次いで「商品の品質が良い」(48.0%)、「駐車場がある」(16.3%)となっている。最寄品以外は商品の種類や量を最も重視する傾向がうかがえる。(図Ⅲ-3-1、P13)

3 買物の支払い方法

買物の支払い方法について、「現金」が44.1%と最も高く、次いで「基本的に現金払いだが、キャッシュレス決済による支払いもする」で30.0%、「基本的にキャッシュレス決済だが、現金払いによる支払いもする」が22.5%となっている(図Ⅲ-4-1、P14)。頻度は異なるが、キャッシュレス決済による支払いを半数以上(52.5%)が行っていることがうかがえる。

4 キャッシュレス決済の利用状況

よく利用するキャッシュレス決済手段について、「クレジットカード」が78.2%と最も高く、次いで「QRコード決済(PayPay/d払い等)(46.8%)」、「電子マネー(楽天Edy/nanaco/WAON/QUICPay等)」(36.2%)となっている(図Ⅲ-5-1、P14)。利用頻度については、「利用可能な店舗(場面)ではキャッシュレス決済を常に利用している」が42.7%と最も高く、次いで「利用可能な店舗(場面)ではキャッシュレス決済を支払回数の概ね半分以下で利用している」(25.7%)、「利用可能な店舗(場面)ではキャッシュレス決済を支払回数の概ね半分以上で利用している」(24.4%)となっている(図Ⅲ-5-2、P15)。キャッシュレス決済をよく利用する店舗・サービスについては、「スーパー(総合スーパー含む)」が54.0%と最も高く、次いで「ショッピングセンター」(52.3%)、「コンビニエンスストア」(51.9%)となっている(図Ⅲ-5-3、P15)。キャッシュレス決済を利用する理由については、「ポイント付与や割引がある」が75.3%と最も高く、次いで「支払い手続きが簡便・早い」で69.4%、「利用明細や支払記録が確認できる」が19.6%となっている(図Ⅲ-5-4、P16)。キャッシュレス決済を利用しない理由については、「現金の方が便利、現金払いに特に不便を感じない」が70.8%と最も高く、次いで「使いすぎてしまうおそれがある」で32.2%、「手続き・利用方法がわからない」「セキュリティの面で不安がある」が26.3%となっている(図Ⅲ-5-5、P16)。

5 インターネットショッピングの利用状況

インターネットショッピングの利用状況は63.6%で、前回(平成29年度)調査より10.3ポイント高くなっている。利用頻度については、「利用したことが無い」が30.6%で最も高く、次いで「月2~3回」が20.0%、「それ以下の頻度」が16.0%、「2~3ヶ月に1回」が14.4%となっている(図Ⅲ-6-1、P17)。

6 コロナ禍の買い物行動の変化

店舗別利用頻度について、「増えた」の中で最も高い割合を占めたのが、ネットショッピング(アマゾン・楽天市場等)の24.1%。また、「減った」の中で最も高い割合を占めたのが、百貨店・デパートは「減った」の42.3%であり、ショッピングセンターや大型専門店も3割を超えている(図Ⅲ-7-1、P19)。買い物行動の変化については、「混雑している店舗を避けるようになった」が33.7%と最も高く、次いで「自宅近くの店舗での買物が増えた」(32.4%)、「買い物行動に特に変化はない」(22.3%)となっている(図Ⅲ-7-2、P19)。新型コロナウイルスの影響により、前回(平成29年度)調査と比べてネットショッピングでの利用率が高くなり、買い物に対する意識の変化が見受けられる。

7 居住地域の商店街の利用状況

居住地域の商店街の利用状況については、「近隣に商店街がない」が27.5%と最も高く、次いで「利用しない」(23.1%)、「年に数回」(14.5%)となっている(図Ⅲ-8-1、P20)。年齢別では、前回(平成29年度)調査と比較すると、70歳代以上は24.5%減少、60歳代は34.7%減少しており利用頻度の減少が顕著となっている(図Ⅲ-8-1、P20)。居住地域の商店街を利用しない理由については、「買いたい商品などを取り扱う店が少ない(無い)」が54.0%と最も高く、次いで「駐車場・駐輪場が少ない」(39.6%)、「品揃え・サービス内容がよい店が少ない(無い)」(35.2%)となっている(図Ⅲ-8-2、P20)。

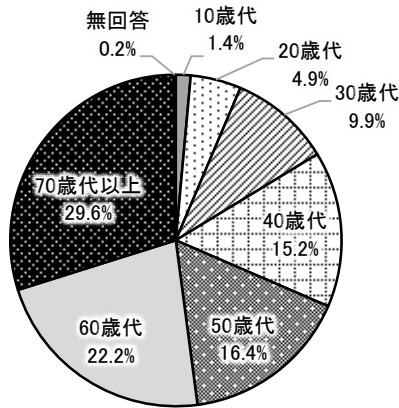
商店街に充実してほしい取組としては、「駐車場や駐輪場の整備」が40.4%と最も高く、次いで「共同売り出し(セール・福引等)」(30.3%)、「空き店舗の利活用(新規店舗の導入など)」(28.1%)となっている(図Ⅲ-8-5、P22)。年齢別にみると、10歳代~30歳代は「祭りをはじめとする集客イベントなどの地域の賑わい創

出」や「キャッシュレス決済の推進」が他世代と比べて高く、取組に期待している傾向がうかがえる。

Ⅲ 調査結果

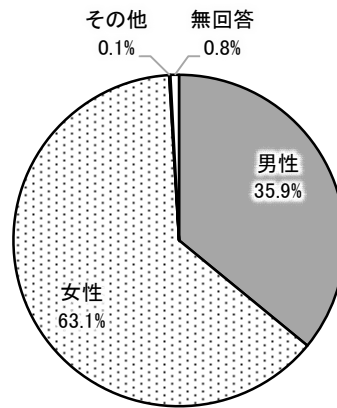
1 回答者の属性 (問1)

図Ⅲ-1-1 年齢



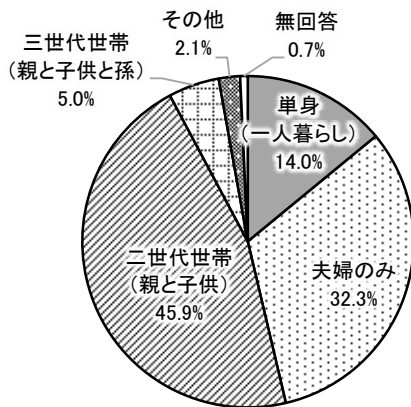
全体(N=2,168)

図Ⅲ-1-2 性別



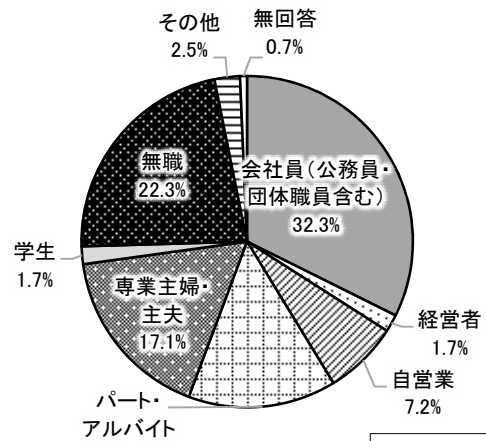
全体(N=2,168)

図Ⅲ-1-3 家族構成



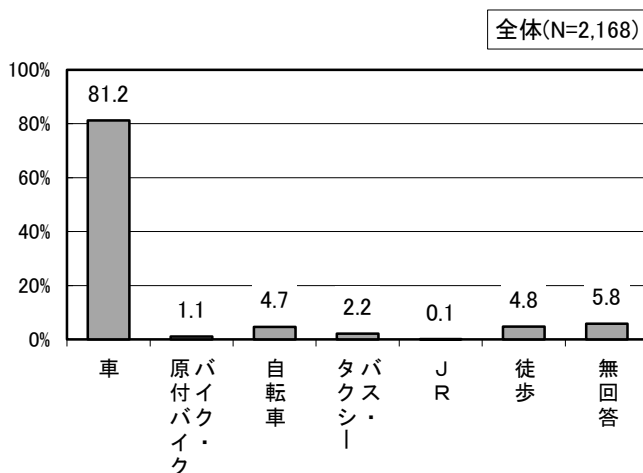
全体(N=2,168)

図Ⅲ-1-4 職業



全体(N=2,168)

図Ⅲ-1-5 移動手段



全体(N=2,168)

(表Ⅲ-1-1)居住市町村別年齢構成

		(%)								
		標 本 数 (人)	10 歳 代	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70 歳 代 以 上	無 回 答
全 体		2,168	1.4	4.9	9.9	15.2	16.4	22.2	29.6	0.2
居 住 市 町 村 別	大分市	914	1.5	5.9	10.1	17.1	17.6	17.2	30.4	0.2
	別府市	221	1.8	4.1	12.7	18.6	14.9	24.0	24.0	-
	中津市	158	-	5.7	14.6	11.4	12.0	25.9	30.4	-
	日田市	124	0.8	3.2	9.7	12.9	20.2	25.8	27.4	-
	佐伯市	144	2.8	6.3	13.2	24.3	14.6	35.4	3.5	-
	臼杵市	44	9.1	6.8	6.8	4.5	9.1	22.7	40.9	-
	津久見市	28	-	-	10.7	7.1	25.0	17.9	39.3	-
	竹田市	39	-	-	7.7	2.6	7.7	33.3	48.7	-
	豊後高田市	50	-	4.0	4.0	14.0	18.0	28.0	32.0	-
	杵築市	49	-	-	4.1	10.2	22.4	12.2	51.0	-
	宇佐市	84	1.2	7.1	9.5	11.9	17.9	25.0	27.4	-
	豊後大野市	77	-	-	2.6	7.8	20.8	28.6	39.0	1.3
	由布市	66	1.5	3.0	6.1	9.1	16.7	24.2	39.4	-
	国東市	58	-	5.2	6.9	12.1	8.6	24.1	43.1	-
	姫島村	8	-	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5	-
	日出町	33	-	3.0	9.1	21.2	12.1	21.2	30.3	3.0
	九重町	21	4.8	-	9.5	14.3	23.8	14.3	33.3	-
玖珠町	34	2.9	8.8	11.8	17.6	11.8	29.4	17.6	-	

2 普段の買い物について（問2）

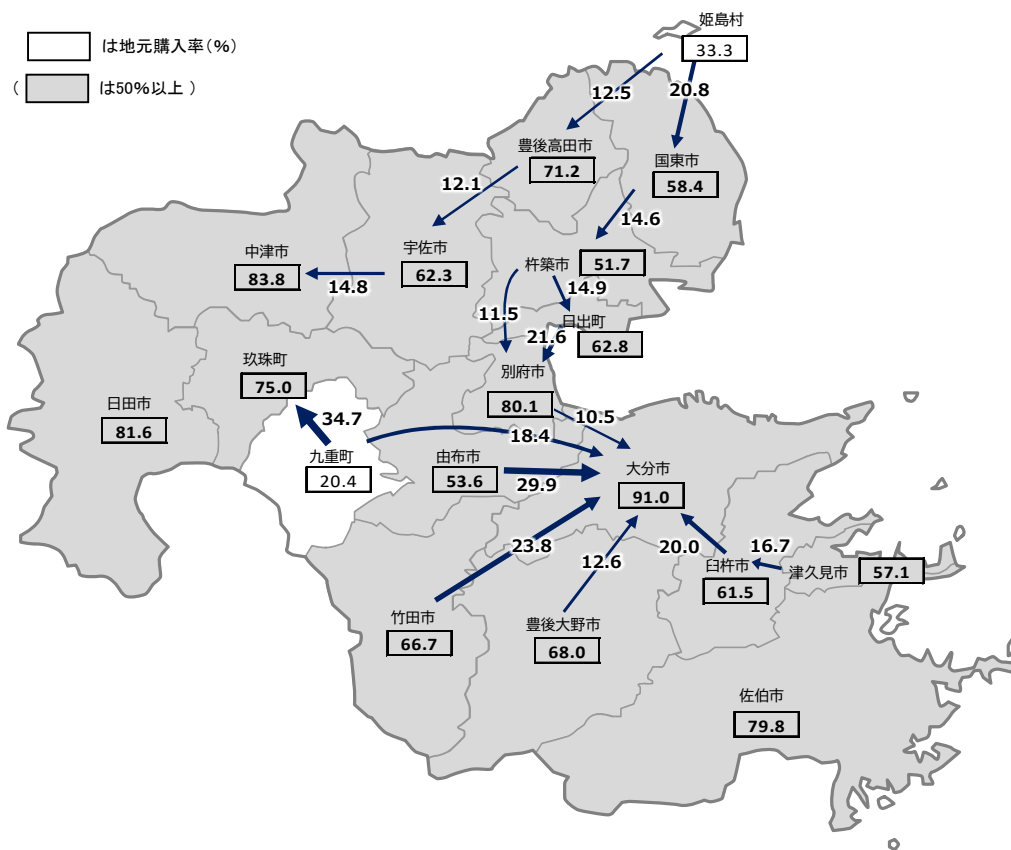
（1）商品種別の購入場所

①最寄品についての購入場所状況

最寄品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圈が形成されている。

最寄品は、「姫島村」、「九重町」を除いては、地元で商圈が完結している場合が多い。

（図Ⅲ-2-1）購入場所の出向マップ＜最寄品＞



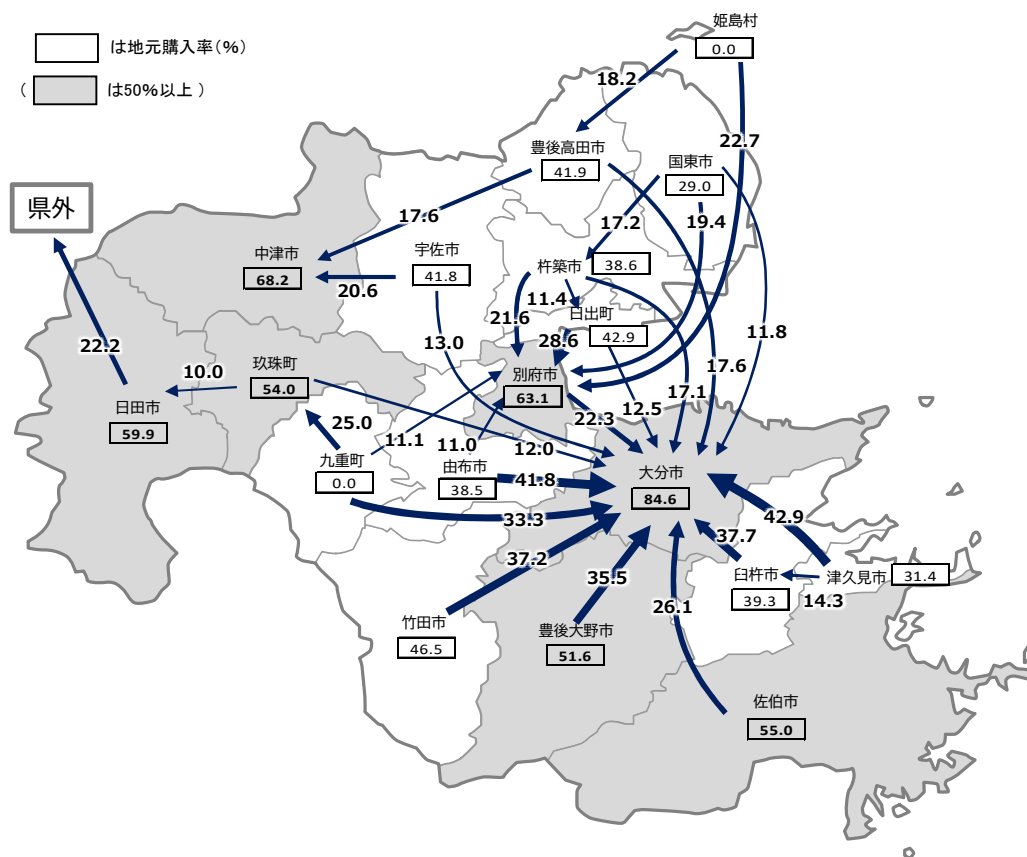
前回の地元購入率との比較をみると、特に変化が目立つ地域（±15%以上の変化、以下同様）として、九重町を除くすべての市町村で増加しており、竹田市（49.5%→66.7% 17.2ポイント増加）が最も高く、続いて豊後大野市（55.3%→68.0% 12.7ポイント増加）、豊後高田市（60.0%→71.2% 11.2ポイント増加）となっている。減少したのは九重町（24.3%→20.4% 3.9ポイント減少）である。

最寄品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回4市町村であったが、今回は2町村となっている。

②買回品についての購入場所状況

買回品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圏が形成されている。

(図Ⅲ-2-2)購入場所の出向マップ<買回品>



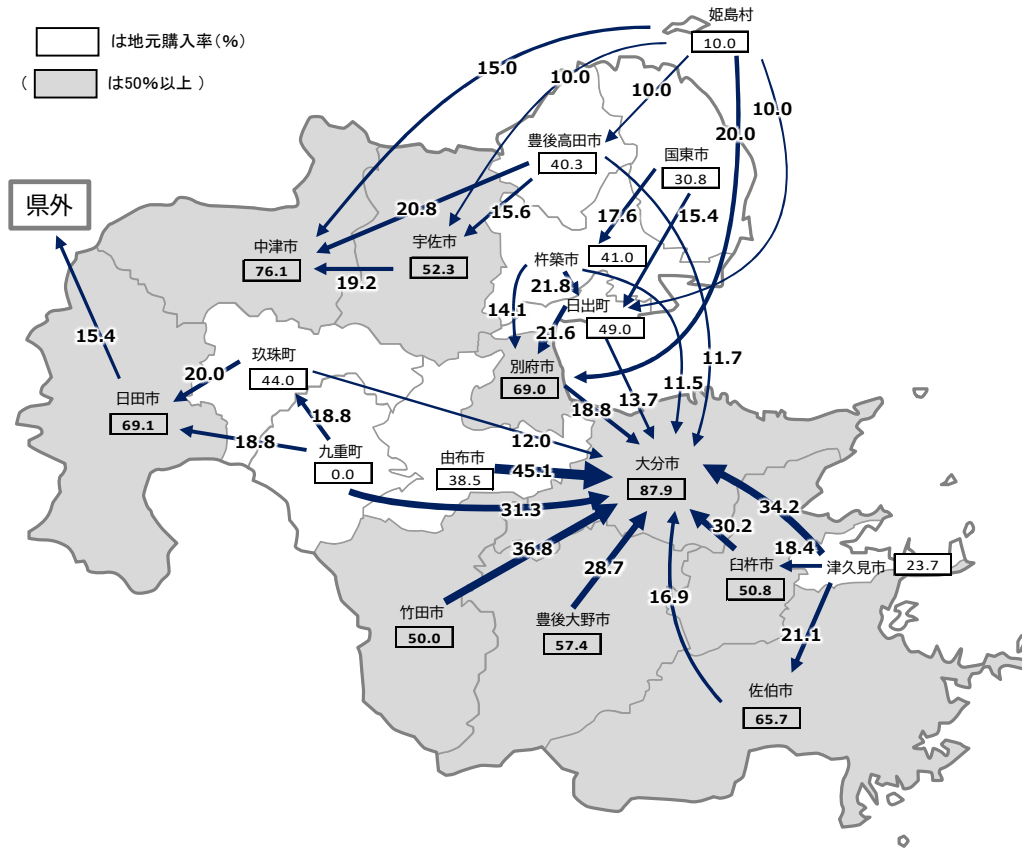
前回の地元購入率との比較をみると、特に変化が目立つ地域として、姫島村、玖重町を除くすべての市町村で増加しており、豊後大野市(34.2%→51.6% 17.4ポイント増加)、玖珠町(36.6%→54.0% 17.4ポイント増加)が最も高く、続いて日出町(29.8%→42.9% 13.1ポイント増加)、中津市(56.4%→68.2% 11.8ポイント増加)となっている。

買回品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回15市町村であったが、今回は11市町村となっている。

③専門品についての購入場所状況

専門品についての購入場所状況をみると、以下のような主な商圏が形成されている。

(図Ⅲ-2-3)購入場所の出向マップ<専門品>



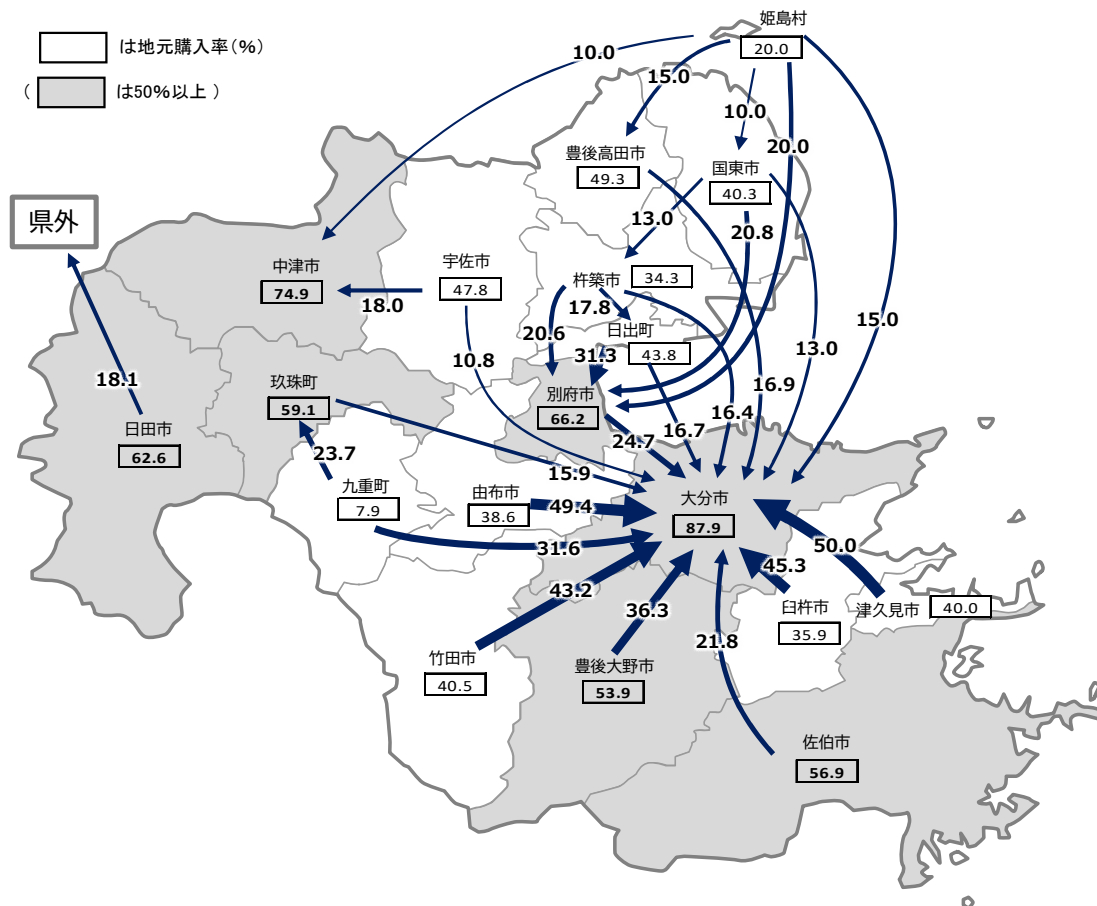
前回の地元購入率との比較をみると、特に変化が目立つ地域として、九重町と姫島村を除くすべての市町村で増加しており、竹田市(32.7%→50.0% 17.3ポイント増加)が最も高く、続いて豊後大野市(40.9%→57.4% 16.5ポイント増加)、由布市(25.0%→38.5% 13.5ポイント増加)となっている。

専門品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回13市町村であったが、今回は9市町村となっている。

④贈答品についての購入場所状況

贈答品についての購入場所状況を見ると、以下のような主な商圏が形成されている。

(図Ⅲ-2-4)購入場所の出向マップ<贈答品>



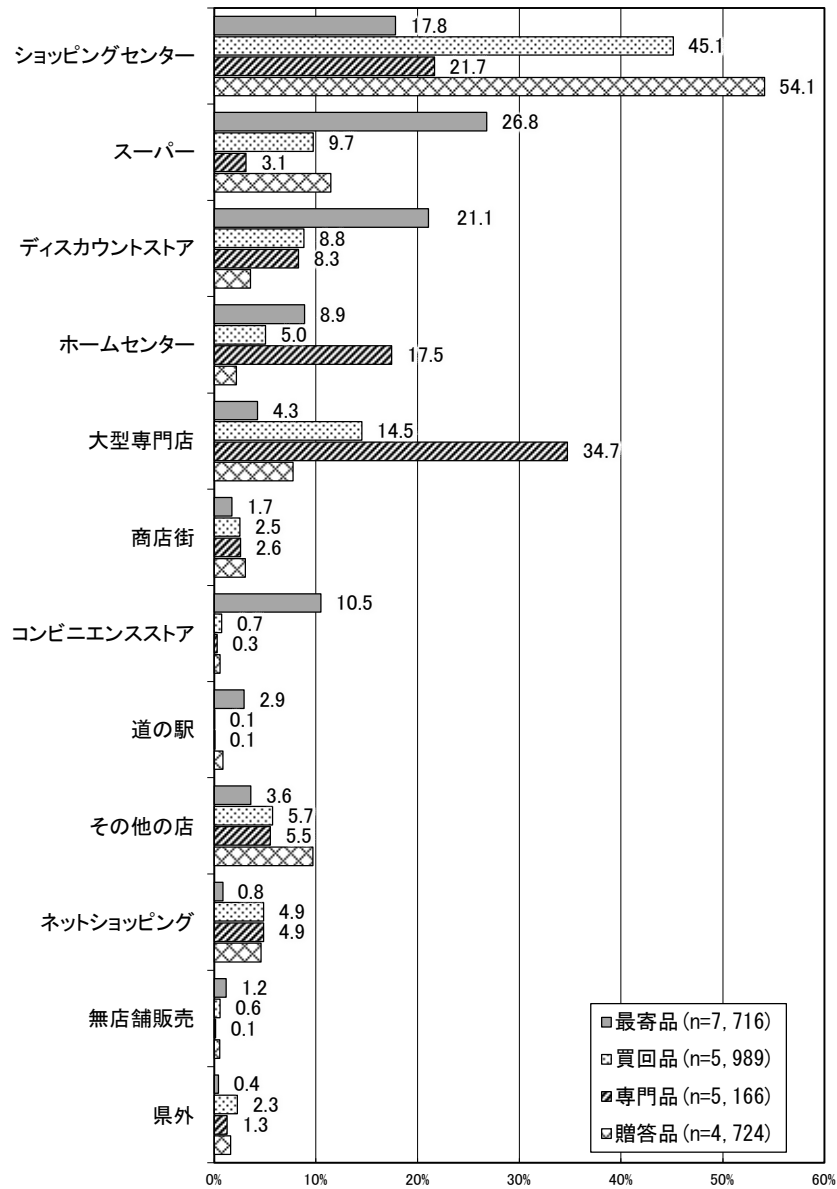
前回の地元購入率との比較をみると、特に変化が目立つ地域として、臼杵市と姫島村を除くすべての市町村で増加しており、豊後大野市(36.8%→53.9% 17.1ポイント増加)が最も高く、続いて国東市(23.4%→40.3% 16.9ポイント増加)、日出町(27.5%→43.8% 16.3ポイント増加)となっている。

贈答品の地元購入率が50%を下回っているのは、前回13市町村であったが、今回は11市町村となっている。

(2) 商品種別の利用店舗形態

商品種別による利用店舗状況を見ると、最寄品は「スーパー」が 26.8%と最も高く、専門品は「大型専門店」が 34.7%と最も高い。買回品、贈答品については「ショッピングセンター」が最も高く4割以上を占めている。

(図Ⅲ-2-5) 商品種別の利用店舗形態

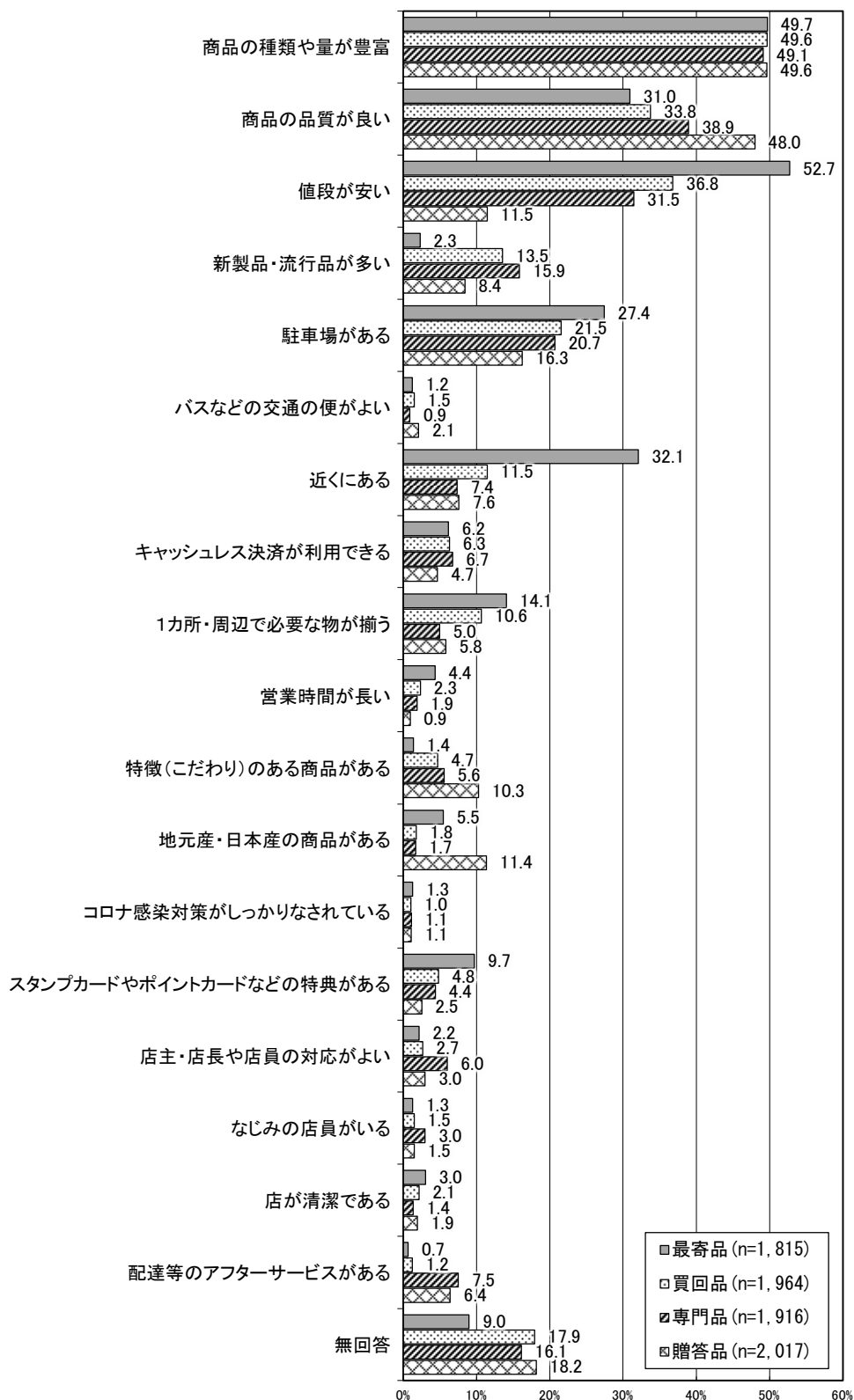


※「おおいたJRシティ・キハ本店・わさだタウン・パークプレイス・トキハ別府店」はショッピングセンターとしてカウント

3 商品購入時に重視する点（問3）

商品購入時に重視する点については、最寄品以外は「商品の種類や量が豊富」が最も高く5割弱を占めており、最寄品は「価格が安い」が52.7%と5割を超え、最も高い割合を占めている。

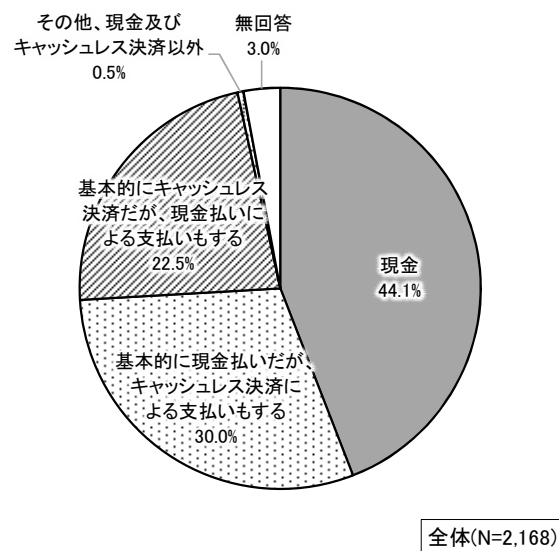
(図Ⅲ-3-1) 購入時に重視する点(複数回答)



4 買物の支払い方法（問 4）

買物の支払い方法について、「現金」が 44.1%と最も高く、次いで「基本的に現金払いだが、キャッシュレス決済による支払いもする」で 30.0%、「基本的にキャッシュレス決済だが、現金払いによる支払いもする」が 22.5%となっている。頻度は異なるが、キャッシュレス決済による支払いを半数以上(52.5%)が行っていることがうかがえる。

(図Ⅲ-4-1)買物の支払い方法(単数回答)

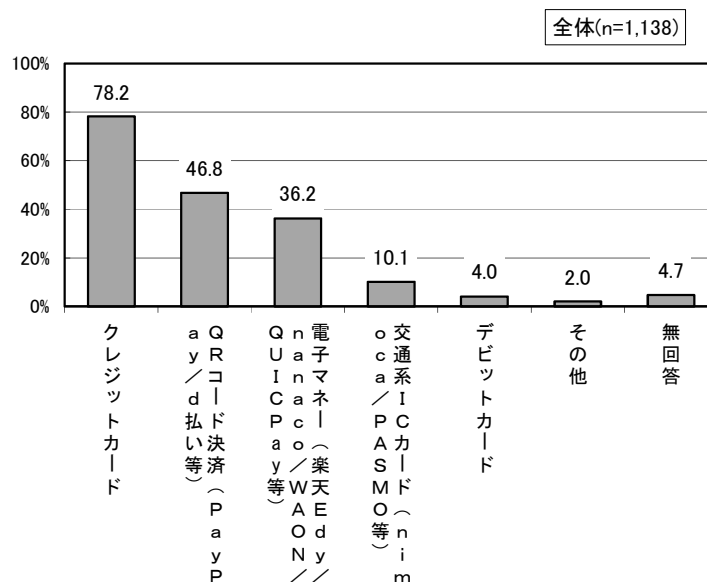


5 キャッシュレス決済（問 5）

(1) よく利用するキャッシュレス決済手段

よく利用するキャッシュレス決済手段について、「クレジットカード」が 78.2%と最も高く、次いで「QRコード決済(PayPay/d 払い等)」で 46.8%、「電子マネー(楽天 Edy/nanaco/WAON/QUICPay 等)」が 36.2%となっている。

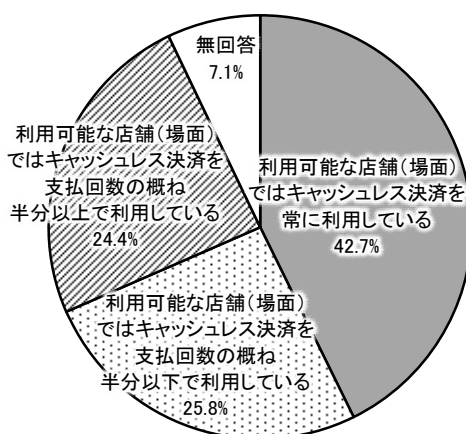
(図Ⅲ-5-1)よく利用するキャッシュレス決済手段(複数回答)



(2) キャッシュレス決済の利用頻度

キャッシュレス決済の利用頻度について、「利用可能な店舗(場面)ではキャッシュレス決済を常に利用している」が 42.7%と最も高く、次いで「利用可能な店舗(場面)ではキャッシュレス決済を支払回数の概ね半分以下で利用している」で 25.7%、「利用可能な店舗(場面)ではキャッシュレス決済を支払回数の概ね半分以上で利用している」が 24.4%となっている。

(図Ⅲ-5-2)キャッシュレス決済の利用頻度(単数回答)

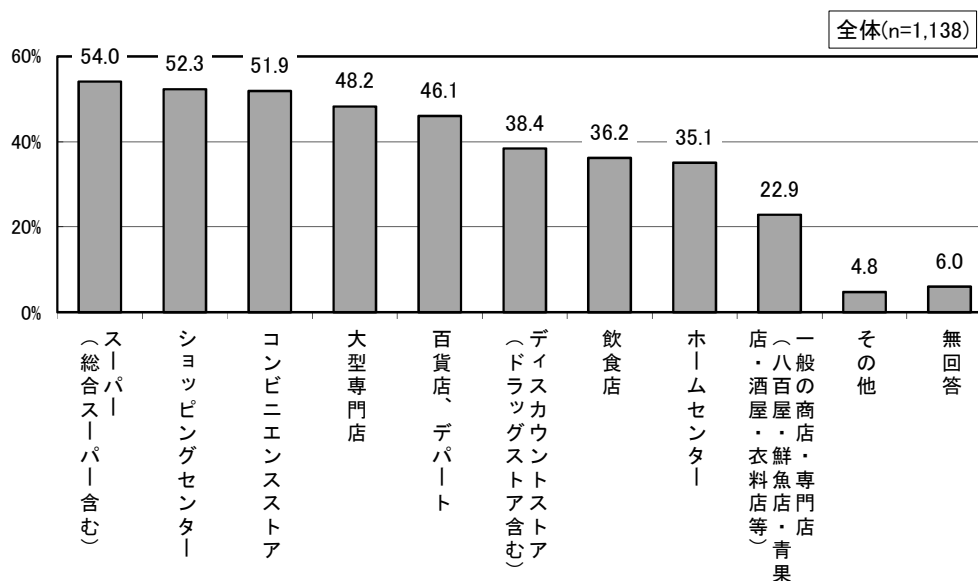


全体(n=1,138)

(3) キャッシュレス決済をよく利用する店舗・サービス

キャッシュレス決済をよく利用する店舗・サービスについて、「スーパー(総合スーパー含む)」が 54.0%と最も高く、次いで「ショッピングセンター」で 52.3%、「コンビニエンスストア」が 51.9%となっている。

(図Ⅲ-5-3)キャッシュレス決済をよく利用する店舗・サービス(複数回答)

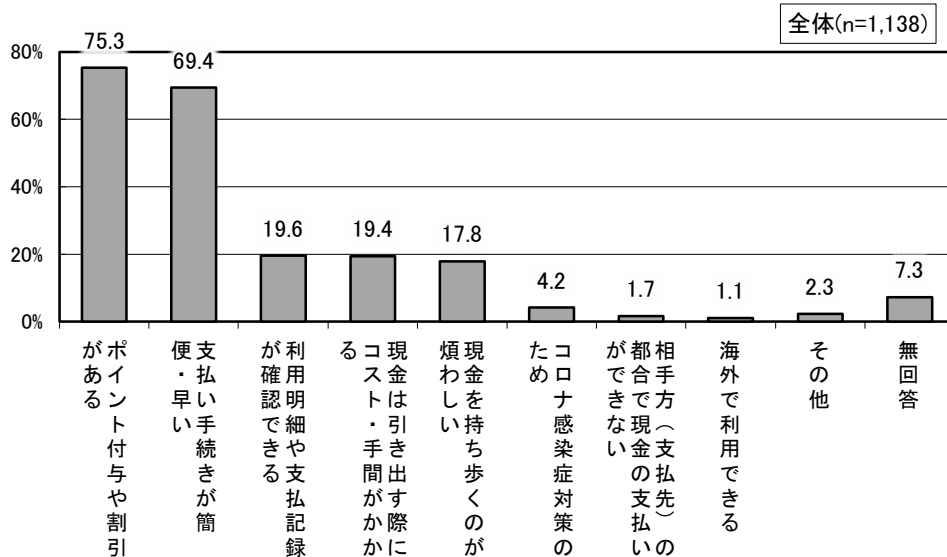


全体(n=1,138)

(4) キャッシュレス決済を利用する理由

キャッシュレス決済を利用する理由について、「ポイント付与や割引がある」が75.3%と最も高く、次いで「支払い手続きが簡便・早い」で69.4%、「利用明細や支払記録が確認できる」が19.6%となっている。

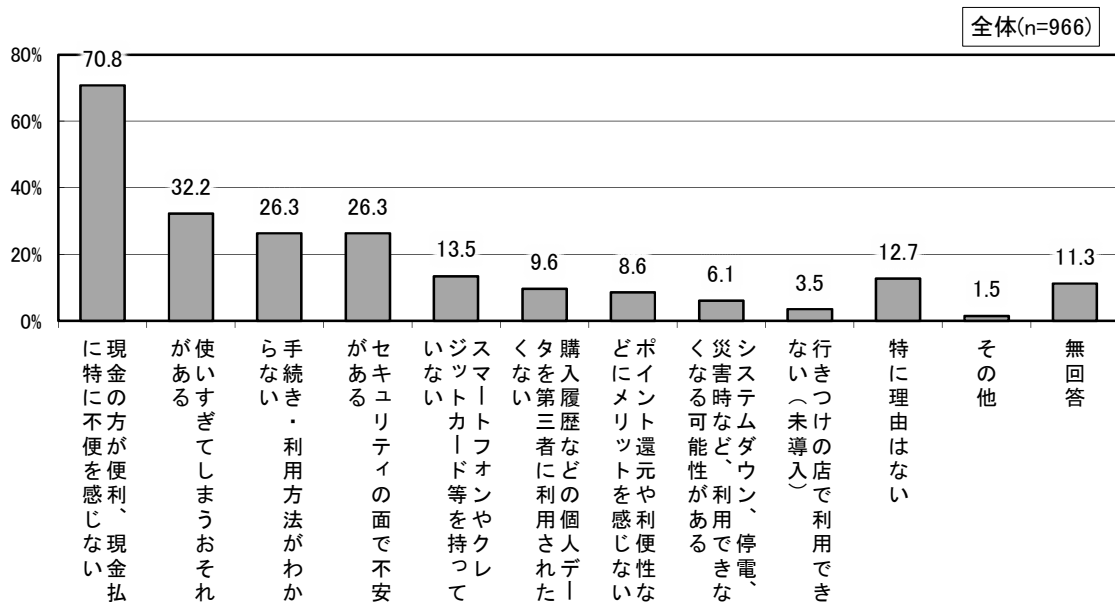
(図Ⅲ-5-4)キャッシュレス決済を利用する理由(複数回答)



(5) キャッシュレス決済を利用しない理由

キャッシュレス決済を利用しない理由について、「現金の方が便利、現金払いに特に不便を感じない」が70.8%と最も高く、次いで「使いすぎてしまうおそれがある」で32.2%、「手続き・利用方法がわからない」「セキュリティの面で不安がある」が26.3%となっている。

(図Ⅲ-5-5)キャッシュレス決済を利用しない理由(複数回答)

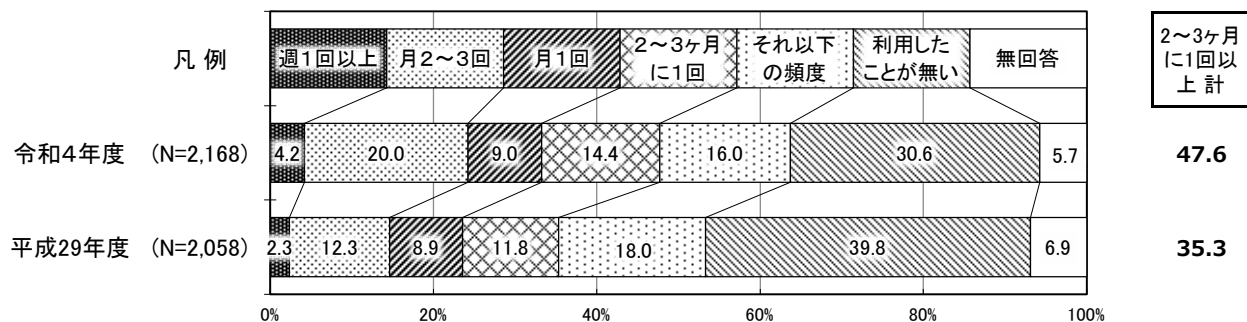


6 インターネットショッピングの利用状況（問6）

（1）利用頻度

インターネットショッピングの利用状況は63.6%で、前回(平成29年度)調査より10.3ポイント高くなっている。利用頻度については、「利用したことが無い」が30.6%で最も高く、次いで「月2～3回」が20.0%、「それ以下の頻度」が16.0%、「2～3ヶ月に1回」が14.4%となっている。

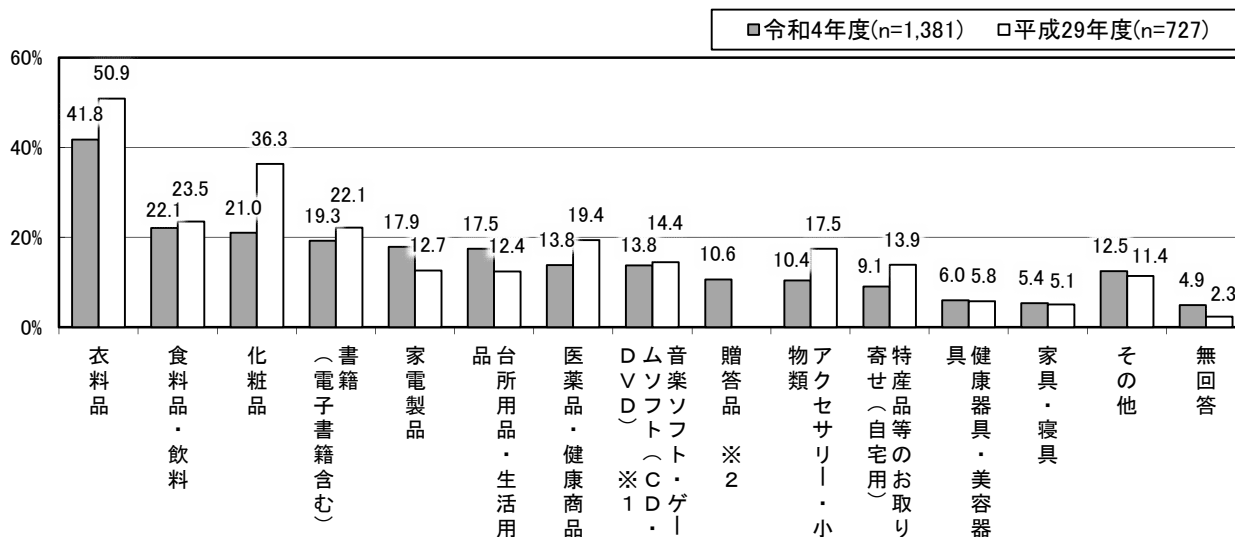
（図Ⅲ-6-1）インターネットショッピングの利用頻度（単数回答）



（2）購入商品

インターネットショッピングでの購入商品については、「衣料品」が41.8%と最も高く、次いで「食料品・飲料」(22.1%)、「化粧品」(21.0%)、「書籍」(19.3%)、「家電製品」(17.9%)の順に高くなっている。

（図Ⅲ-6-2）購入商品（複数回答）



（注1）平成29年度は2～3ヶ月に1回以上利用する人ベース。

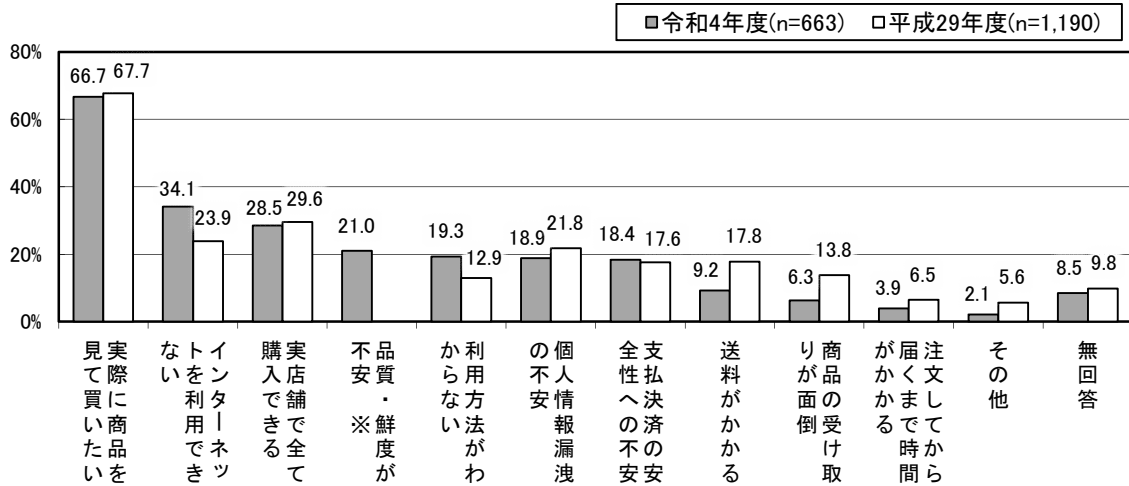
※1 平成29年度は「CD・DVD」

※2 「贈答品」は今回調査より追加

(3) 利用していない理由

インターネットショッピングを利用していない理由については、「実際に商品を見て買いたい」が66.7%と最も高く、次いで「インターネットを利用できない」(34.1%)、「実店舗で全て購入できる」(28.5%)、「品質・鮮度が不安」(21.0%)、「利用方法がわからない」(19.3%)の順に高くなっている。

(図Ⅲ-6-3) 利用していない理由(複数回答)



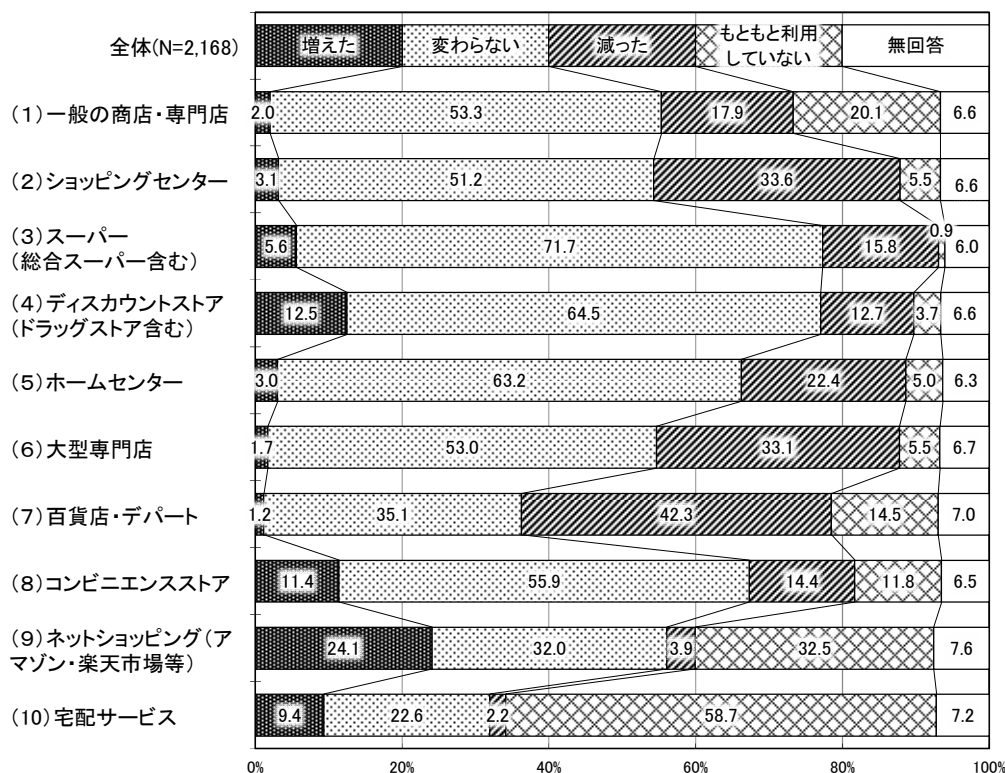
(注1) 平成29年度は2~3ヶ月に1回未満・利用したことが無い人ベース。
 ※「品質・鮮度が不安」は今回調査より追加

7 コロナ禍の買い物行動の変化（問7）

（1）店舗別利用頻度

店舗別利用頻度について、「増えた」の中で最も高い割合を占めたのが、(9)ネットショッピング(アマゾン・楽天市場等)の24.1%。また、「減った」の中で最も高い割合を占めたのが、(7)百貨店・デパートの42.3%となっており、(2)ショッピングセンターや(6)大型専門店も3割を超えている。

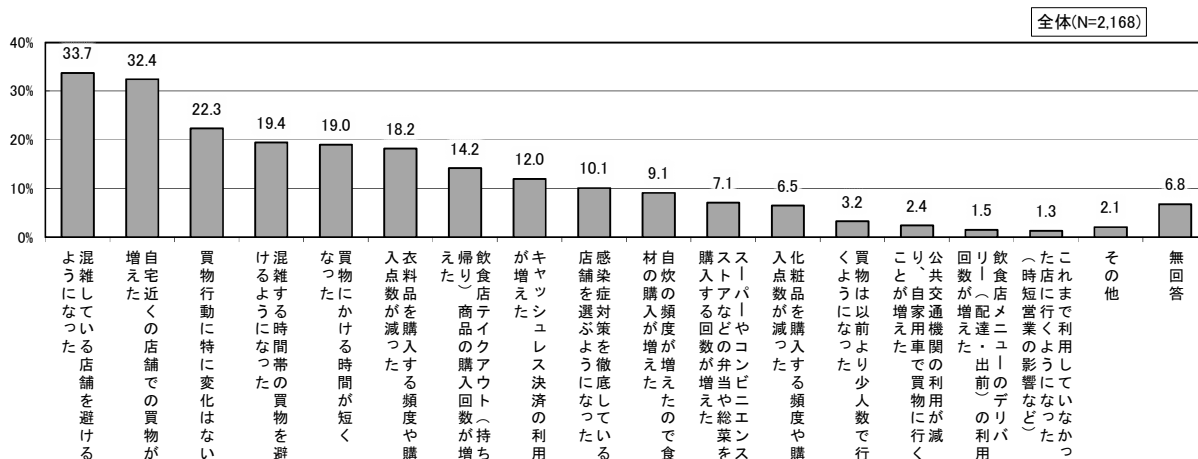
(図Ⅲ-7-1)店舗別利用頻度(単数回答)



（2）買い物行動の変化

買い物行動の変化については、「混雑している店舗を避けるようになった」が33.7%と最も高く、次いで「自宅近くの店舗での買物が増えた」(32.4%)、「買物行動に特に変化はない」(22.3%)、「混雑する時間帯の買物を避けるようになった」(19.4%)、「買物にかかる時間が短くなった」(19.0%)の順に高くなっている。

(図Ⅲ-7-2)買い物行動の変化(単数回答)

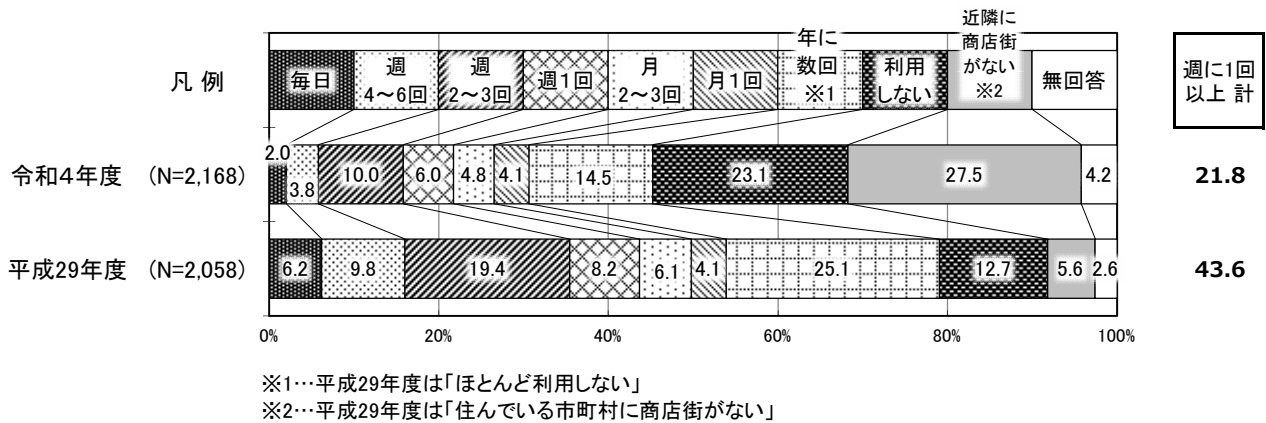


8 居住地域の商店街の利用状況（問8）

（1）利用頻度

居住地域の商店街の利用状況については、「近隣に商店街がない」が27.5%と最も高く、次いで「利用しない」(23.1%)、「年に数回」(14.5%)、「週2～3回」(10.0%)の順に高くなっている。『週に1回以上』と比較的高い頻度で利用している割合は21.8%で、前回(平成29年度)調査に比べて21.8ポイント低くなっている。

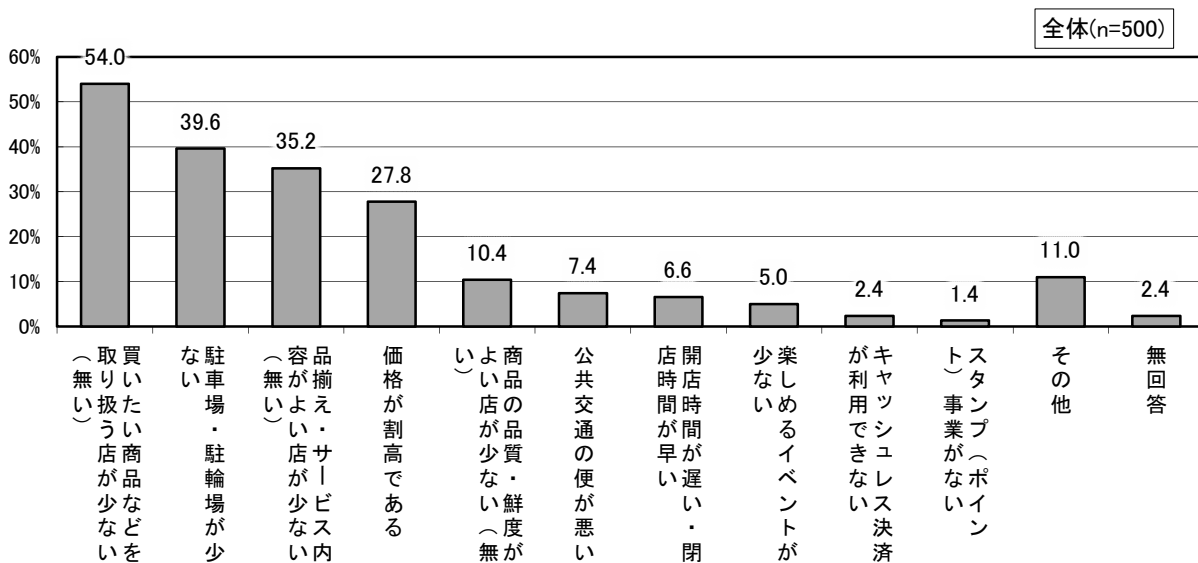
（図Ⅲ-8-1）居住地域の商店街の利用頻度（単数回答）



（2）商店街を利用しない理由

居住地域の商店街を利用しない理由については、「買いたい商品などを取り扱う店が少ない(無い)」が54.0%と最も高く、次いで「駐車場・駐輪場が少ない」(39.6%)、「品揃え・サービス内容がよい店が少ない(無い)」(35.2%)、「価格が割高である」(27.8%)の順に高くなっている。

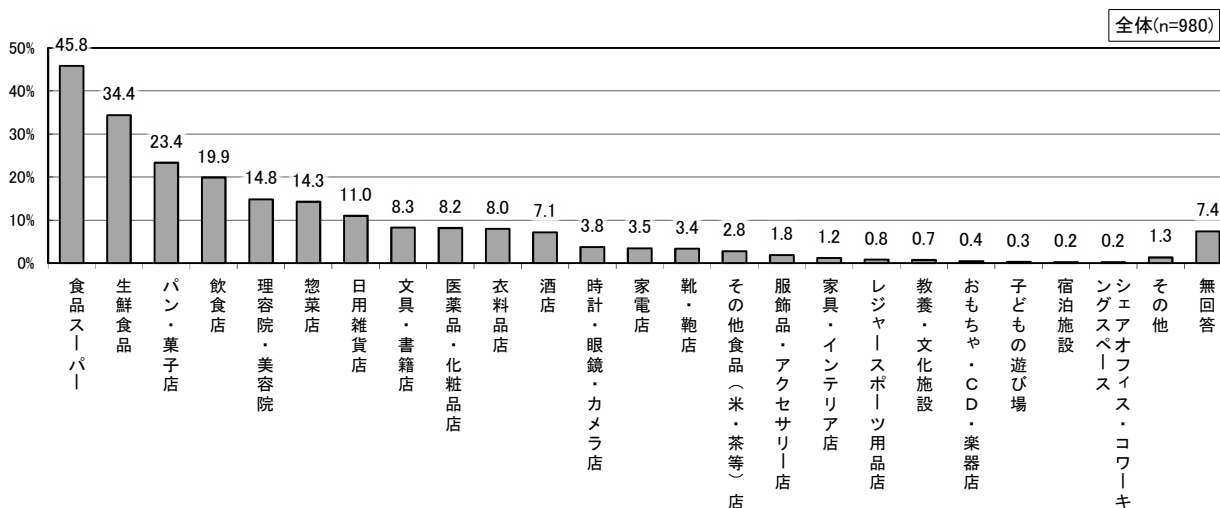
（図Ⅲ-8-2）商店街を利用しない理由（複数回答）



(3) 主に利用する業種

主に利用する業種については、「食品スーパー」が45.8%と最も高く、次いで「生鮮食品」(34.4%)、「パン・菓子店」(23.4%)、「飲食店」(19.9%)の順に高くなっている。

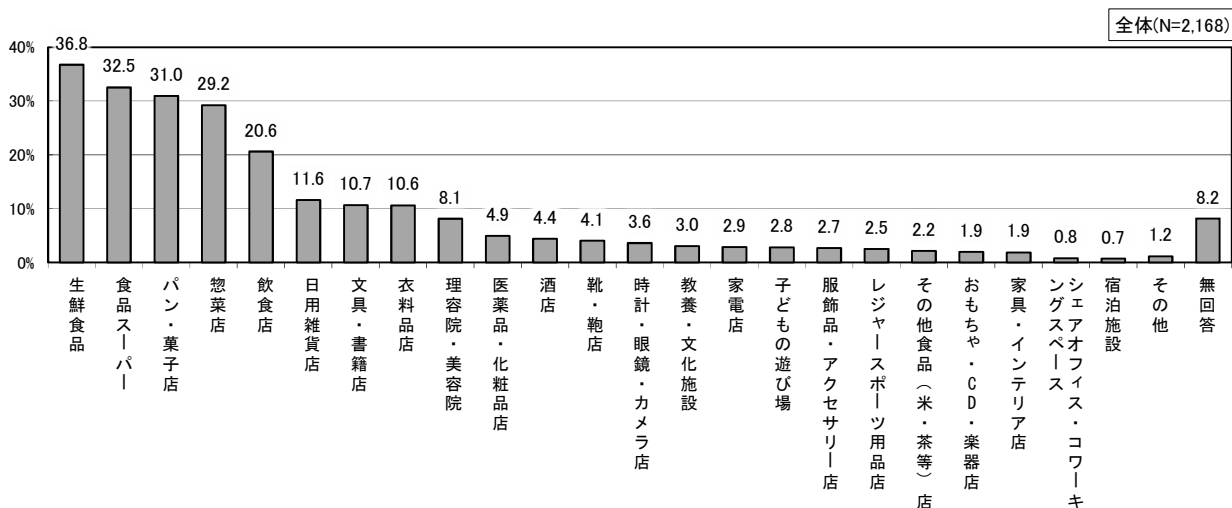
(図Ⅲ-8-3)主に利用する業種(複数回答)



(4) 利用したい業種

主に利用したい業種については、「生鮮食品」が36.8%と最も高く、次いで「食品スーパー」(32.5%)、「パン・菓子店」(31.0%)、「惣菜店」(29.2%)の順に高くなっている。

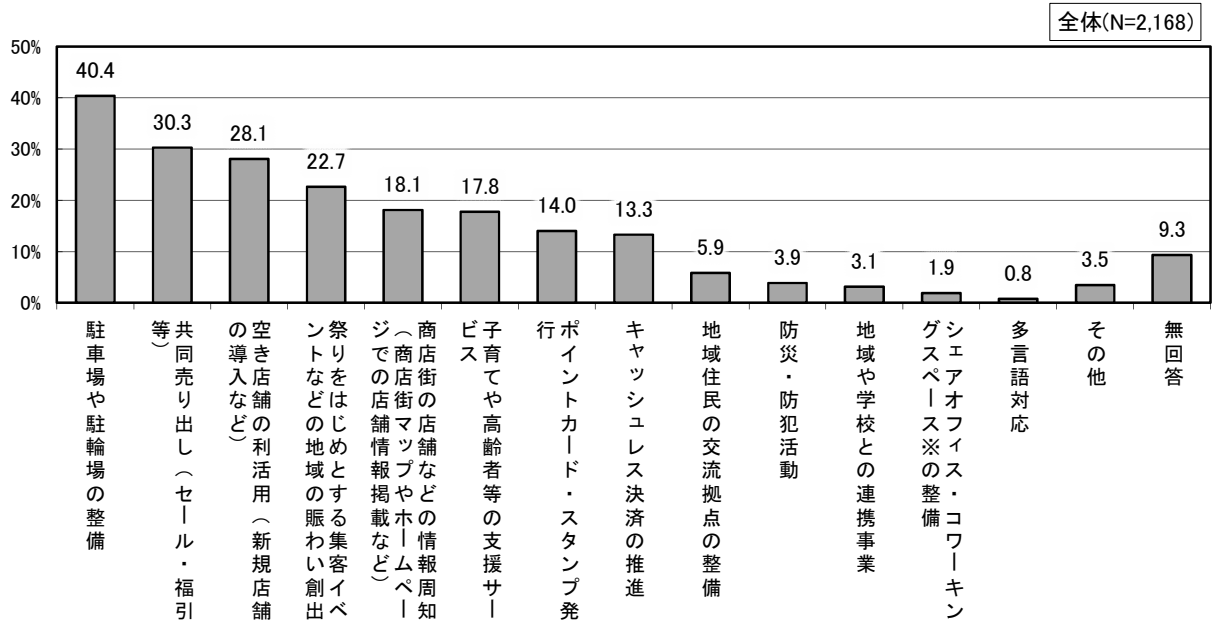
(図Ⅲ-8-4)利用したい業種(複数回答)



(5) 充実してほしい取組

商店街に充実してほしい取組としては、「駐車場や駐輪場の整備」が 40.4%と最も高く、次いで「共同売り出し(セール・福引等)」(30.3%)、「空き店舗の利活用(新規店舗の導入など)」(28.1%)、「祭りをはじめとする集客イベントなどの地域の賑わい創出」(22.7%)の順に高くなっている。

(図Ⅲ-8-5) 充実してほしい取組み(複数回答)



IV アンケート調査票



大分県お買い物調査の協力をお願い

—令和4年度大分県中心市街地等消費者動向調査—

大分県では、県内の消費ニーズと買物動向の実態を把握することを目的に、定期的にお買い物調査を実施しています。

この調査は、県内にお住まいの18歳以上の方6,300名を無作為に選んで調査票を発送しております（無記名で調査を行います）。

本調査結果は、県のホームページなどで公表する予定です。

皆様が普段のお買い物をどのようになさっているのか、商店や商店街に対してどのようなご意見やご要望をお持ちになっているのかなどをお尋ねし、商業の活性化などの取組に役立てたいと考えております。

ご協力よろしくお願ひします。

回答方法について

回答方法は2種類ございます。どちらか選んでご回答ください。

下記①②のどちらの場合も、別添「買い物場所一覧表」をお手元にご準備のうえご回答ください。

①本調査に記入してご回答いただく場合

ご記入のうえ、同封しております返信用封筒に調査票を入れて、下記回答期限までにお近くの郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。

②インターネット上でご回答いただく場合

下記URLをご参照いただくか、QRコードを読み取ってアクセスし、下記回答期限までにご回答ください。

【回答用URL】

<https://ttzk.graffer.jp/pref/oita/smart-apply/surveys/alias/syogyo-kaimono>



回答期限は、10月21日（金曜日）までです！

【調査に関するお問い合わせ先】

大分県商工観光労働部 商業・サービス業振興課（電話：097-506-3284）

大分県お買い物調査票

—令和4年度大分県中心市街地等消費者動向調査—

問1 このアンケートにお答えいただく方におたずねします。

次の(1)～(5)については、あてまるものをそれぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。
(6)～(7)については、該当市町村を記入してください。

(1) あなたの年齢を教えてください (令和4年9月21日現在)	1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代以上
(2) あなたの性別を教えてください	1. 男性 2. 女性 3. その他
(3) あなたの家族構成を教えてください	1. 単身(一人暮らし) 2. 夫婦のみ 3. 二世帯世帯(親と子供) 4. 三世帯世帯(親と子供と孫) 5. その他()
(4) あなたの職業を教えてください	1. 会社員(公務員・団体職員含む) 2. 経営者 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 専業主婦・主夫 6. 学生 7. 無職 8. その他()
(5) ふだん買い物で利用している移動手段を教えてください	1. 車 2. バイク・原付バイク 3. 自転車 4. バス・タクシー 5. JR 6. 徒歩
(6) あなたがお住まいの地域の市町村名を教えてください	()市・町・村
(7) あなたがお住まいの地域の平成の大合併前の旧市町村名を教えてください	旧()市・町・村

直近1年間のお買い物に関してお答えください。

問2 普段の買い物についておたずねします。

次の商品は、普段どこでお買い求めになりますか。別紙の「買い物場所一覧表」から、商品ごとに買い物をする店の番号(1～153)を多い方から最大5つまで記入してください。

商 品	普段買い物をする店の番号				
	1番目	2番目	3番目	4番目	5番目
(1) 最寄品 (生鮮食料品・菓子類・飲料・米・調味料・ 台所用品・日用品・医薬品・化粧品 等)					
(2) 買回品 (洋服・下着・靴下・靴・かばん・帽子・ 服飾品 等)					
(3) 専門品 (家電製品・家具・インテリア・貴金属・時計・ 玩具・スポーツ用品・レジャー用品 等)					
(4) 贈答品 (中元・歳暮・プレゼント 等)					

問3 買い物をする際に、重要視する点についておたずねします。

次の「最寄品」「買回品」「専門品」「贈答品」を購入するときに、それぞれどのような点を重視して店を選ぶか、商品ごとに(1)～(18)の中から最大3つまで選んで枠内に○をつけてください。

	最寄品	買回品	専門品	贈答品
(1) 商品の種類や量が豊富				
(2) 商品の品質が良い				
(3) 値段が安い				
(4) 新製品・流行品が多い				
(5) 駐車場がある				
(6) バスなどの交通の便が良い				
(7) 近くにある				
(8) キャッシュレス決済が利用できる				
(9) 1カ所・周辺で必要な物が揃う				
(10) 営業時間が長い				
(11) 特徴(こだわり)のある商品がある				
(12) 地元産・日本産の商品がある				
(13) コロナ感染対策がしっかりなされている				
(14) スタンプカードやポイントカードなどの特典がある				
(15) 店主・店長や店員の対応が良い				
(16) なじみの店員がいる				
(17) 店が清潔である				
(18) 配達等のアフターサービスがある				

問4 普段の買物はどのように支払っているか、支払方法を1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 現金
2. 基本的に現金払いだが、キャッシュレス決済による支払いもする
3. 基本的にキャッシュレス決済(クレジットカード、電子マネー、QRコード決済等)だが、現金払いによる支払いもする(全てキャッシュレス決済の場合も含む)
4. その他、現金及びキャッシュレス決済以外()

問4で「1」または「4」を選んだ方は問5(5)へ、問4で「2」～「3」を選んだ方は問5(1)へ進んでください。

問5 キャッシュレス決済についておたずねします。

(1) 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。

よく利用するキャッシュレス決済手段について、あてはまるものを最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. クレジットカード
2. 交通系ICカード(nimoca/PASMO等)
3. QRコード決済(PayPay/d払い等)
4. 電子マネー(楽天Edy/nanaco/WAON/QUICPay等)
5. デビットカード
6. その他()

(2) 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。

キャッシュレス決済の利用頻度についてあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 利用可能な店舗（場面）ではキャッシュレス決済を常に利用している
2. 利用可能な店舗（場面）ではキャッシュレス決済を支払回数の概ね半分以上で利用している
3. 利用可能な店舗（場面）ではキャッシュレス決済を支払回数の概ね半分以下で利用している

(3) 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。

キャッシュレス決済をよく利用する店舗・サービスについて、あてはまるもの【全て】選んで番号に○をつけてください。

※各店舗の具体例は別紙「買い物場所一覧」の「用語説明」をご覧ください。

1. 一般の商店・専門店（八百屋・鮮魚店・青果店・酒屋・衣料店等）
2. 飲食店
3. ショッピングセンター
4. スーパー（総合スーパー含む）
5. ディスカウントストア（ドラッグストア含む）
6. ホームセンター
7. 大型専門店
8. 百貨店、デパート
9. コンビニエンスストア
10. その他（ ）

(4) 問4で「2」または「3」と回答された方におたずねします。

キャッシュレス決済を利用する理由を最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. ポイント付与や割引がある
2. 支払い手続きが簡便・早い
3. 現金は引き出す際にコスト・手間がかかる
4. 現金を持ち歩くのが煩わしい
5. 利用明細や支払記録が確認できる
6. コロナ感染症対策のため
7. 海外で利用できる
8. 相手方（支払先）の都合で現金の支払いができない
9. その他（ ）

(5) キャッシュレス決済を利用していない方におたずねします。

キャッシュレス決済を利用しない理由を最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

1. 手続き・利用方法がわからない
2. 現金の方が便利、現金払に特に不便を感じない
3. スマートフォンやクレジットカード等を持っていない
4. 行きつけの店で利用できない（未導入）
5. ポイント還元や利便性などにメリットを感じない
6. 使いすぎてしまうおそれがある
7. セキュリティの面で不安がある
8. 購入履歴などの個人データを第三者に利用されたくない
9. システムダウン、停電、災害時など、利用できなくなる可能性がある
10. 特に理由はない
11. その他（ ）

問6 直近1年間のインターネットショッピングの利用状況についておたずねします。

(1) インターネットショッピングを利用する頻度はどれくらいですか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 週1回以上
2. 月2～3回
3. 月1回
4. 2～3ヶ月に1回
5. それ以下の頻度
6. 利用したことが無い

問6 (1) で、「1」～「5」を選んだ方は問6 (2) へ、「6」を選んだ方は問6 (3) へ進んでください。

(2) 問6(1)で「1」～「5」を選んだ方におたずねします。

インターネットショッピングではどのような商品を購入していますか。
購入頻度が多いものを最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------------|-------------------------|-----------|---------------|-------------|
| 1. 衣料品 | 2. 化粧品 | 3. 食料品・飲料 | 4. 書籍（電子書籍含む） | 5. 医薬品・健康商品 |
| 6. アクセサリー・小物類 | 7. 音楽ソフト・ゲームソフト（CD・DVD） | | | |
| 8. 特産品等のお取り寄せ（自宅用） | 9. 贈答品 | 10. 家電製品 | | |
| 11. 台所用品・生活用品 | 12. 健康器具・美容器具 | | | |
| 13. 家具・寝具 | 14. その他（ | | | ） |

(3) 問6(1)で「6」を選んだ方におたずねします。

インターネットショッピングを利用していない主な理由を最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|----------------------|----------------|---------------|
| 1. 実際に商品を見て買いたい | 2. 実店舗で全て購入できる | 3. 品質・鮮度が不安 |
| 4. インターネットを利用できない | 5. 個人情報漏洩の不安 | 6. 送料がかかる |
| 7. 支払決済の安全性への不安 | 8. 商品の受け取りが面倒 | 9. 利用方法がわからない |
| 10. 注文してから届くまで時間がかかる | 11. その他（ | ） |

問7 コロナ禍の買物行動の変化についておたずねします。

(1) 下記項目に関する利用頻度について、あてはまるものをそれぞれ1つ選んで番号に○をつけてください。
※各店舗の具体例は別紙「買い物場所一覧」の「用語説明」をご覧ください。

(1) 一般の商店・専門店 (八百屋・鮮魚店・青果店・ 酒屋・衣料店等)	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(2) ショッピングセンター	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(3) スーパー (総合スーパー含む)	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(4) ディスカウントストア (ドラッグストア含む)	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(5) ホームセンター	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(6) 大型専門店	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(7) 百貨店・デパート	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(8) コンビニエンスストア	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(9) ネットショッピング (アマゾン・楽天市場等)	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない
(10) 宅配サービス (生協・ネットスーパー・ 食品宅配等)	1. 増えた	2. 変わらない	3. 減った	4. もともと利用していない

(3) 問8(1)で「1」～「7」を選んだ方におたずねします。

商店街を利用する場合、主に利用する業種についてあてはまるものを最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------------|---------|
| 1. 食品スーパー | 2. 生鮮食品 | 3. 惣菜店 | 4. 酒店 |
| 5. パン・菓子店 | 6. その他食品(米・茶等)店 | 7. 飲食店 | 8. 衣料品店 |
| 9. 靴・鞆店 | 10. 服飾品・アクセサリー店 | 11. 家電店 | |
| 12. 家具・インテリア店 | 13. 時計・眼鏡・カメラ店 | 14. 文具・書籍店 | |
| 15. レジャースポーツ用品店 | 16. 日用雑貨店 | 17. 医薬品・化粧品店 | |
| 18. おもちゃ・CD・楽器店 | 19. 理容院・美容院 | 20. 教養・文化施設 | |
| 21. 子どもの遊び場 | 22. 宿泊施設 | 23. シェアオフィス・コワーキングスペース※ | |
| 24. その他() | | | |

※シェアオフィス・コワーキングスペース：1つのオフィス・作業スペース等を複数の企業や個人が共用する場所

(4) 全員お答えください。

あなたが商店街で利用したいと感じる店舗の種類(業種)を最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------------|---------|
| 1. 食品スーパー | 2. 生鮮食品 | 3. 惣菜店 | 4. 酒店 |
| 5. パン・菓子店 | 6. その他食品(米・茶等)店 | 7. 飲食店 | 8. 衣料品店 |
| 9. 靴・鞆店 | 10. 服飾品・アクセサリー店 | 11. 家電店 | |
| 12. 家具・インテリア店 | 13. 時計・眼鏡・カメラ店 | 14. 文具・書籍店 | |
| 15. レジャースポーツ用品店 | 16. 日用雑貨店 | 17. 医薬品・化粧品店 | |
| 18. おもちゃ・CD・楽器店 | 19. 理容院・美容院 | 20. 教養・文化施設 | |
| 21. 子どもの遊び場 | 22. 宿泊施設 | 23. シェアオフィス・コワーキングスペース※ | |
| 24. その他() | | | |

※シェアオフィス・コワーキングスペース：1つのオフィス・作業スペース等を複数の企業や個人が共用する場所

(5) 全員お答えください。

商店街に取り組んで欲しい、もっと充実して欲しい取組について最大3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---|-------------------------------|
| 1. 共同売り出し(セール・福引等) | 2. 祭りをはじめとする集客イベントなどの地域の賑わい創出 |
| 3. キャッシュレス決済の推進 | 4. ポイントカード・スタンプ発行 |
| 5. 商店街の店舗などの情報周知(商店街マップやホームページでの店舗情報掲載など) | |
| 6. 地域や学校との連携事業 | 7. 子育てや高齢者等の支援サービス |
| 8. 駐車場や駐輪場の整備 | 9. 防災・防犯活動 |
| 10. 多言語対応 | 11. シェアオフィス・コワーキングスペース※の整備 |
| 12. 地域住民の交流拠点の整備 | |
| 13. 空き店舗の利活用(新規店舗の導入など) | 14. その他() |

※シェアオフィス・コワーキングスペース：1つのオフィス・作業スペース等を複数の企業や個人が共用する場所

ご協力ありがとうございました。
返信用封筒に本調査表を入れて、郵送してください(切手は不要です)。

買い物場所一覧表

別紙

◆用語説明

ショッピングセンター	複数の小売店舗や飲食店、サービス店が入居する商業施設 (大分オーバ、あけのアクロスタウン、D-plaza、ゆめタウン、一部のイオン(旧ジャスコ) など)
スーパー(総合スーパー含む)	食料品や日用品を取りそろえ、さらに衣料品や家具など総合的に取りそろえた店舗 (マルシヨク、サンリブ、マックスバリュ、トキハインダストリー、一部のイオン(旧ダイエー)、HIヒロセ(スーパー部分) など)
ディスカウントストア(ドラッグストア含む)	食料品・日用品・衣料品・家電製品・玩具などを低価格で提供する店舗、医薬品を中心として、食料品や日用品まで取りそろえた店舗 (トライアル、ダイレックス、ミスターマックス、スーパーキッド、ドン・キホーテ、コスモス薬品、ドラッグストアモリ など)
ホームセンター	主として日用雑貨や住宅設備に関する商品を販売する比較的大きな店舗 (ホームワイド、コメリ、ナフコ、ハンズマン、HIヒロセ(ホームセンター部分) など)
大型専門店	県内いくつかのお店がある家電量販店、衣料品、紳士服、日用雑貨を専門的に扱う比較的大きな店舗 (ヤマダ電機、ベスト電器、ニトリ、しまむら、洋服の青山、ダイソー など)

大分市内の店舗		臼杵市内の店舗		豊後大野市内の店舗		その他	
1	おおいたJRRシティ (アミュープラザ、豊後にわかき市場)	48	スーパー	92	スーパー	135	通信販売 (テレビ・ラジオショッピング、 インターネットショッピングなど)
2	トキハ本店	49	ディスカウントストア	93	ディスカウントストア	136	インターネットオークション (ヤフオク! など)
3	わざだタウン	50	ホームセンター	94	ホームセンター	137	フリマアプリ (楽天ラクマ、メルカリ など)
4	パークプレイス	51	大型専門店	95	大型専門店	138	訪問販売
5	ショッピングセンター	52	商店街	96	商店街	139	生協等の共同購入
6	スーパー	53	コンビニエンスストア	97	コンビニエンスストア	140	移動販売車
7	ディスカウントストア	54	その他の店	98	道の駅		
8	ホームセンター			99	その他の店		
9	大型専門店	津久見市内の店舗		由布市内の店舗			
10	商店街	55	スーパー	100	スーパー		
11	コンビニエンスストア	56	ディスカウントストア	101	ディスカウントストア		
12	道の駅	57	ホームセンター	102	ホームセンター		
13	その他の店	58	大型専門店	103	大型専門店		
		59	商店街	104	商店街		
		60	コンビニエンスストア	105	コンビニエンスストア		
		61	その他の店	106	道の駅		
				107	その他の店		
		竹田市内の店舗		国東市内の店舗			
		62	スーパー	108	スーパー		
		63	ディスカウントストア	109	ディスカウントストア		
		64	ホームセンター	110	ホームセンター		
		65	大型専門店	111	大型専門店		
		66	商店街	112	商店街		
		67	コンビニエンスストア	113	コンビニエンスストア		
		68	道の駅	114	道の駅		
		69	その他の店	115	その他の店		
		豊後高田市内の店舗		姫島村内の店舗			
		70	スーパー	116	姫島村内の店		
		71	ディスカウントストア				
		72	ホームセンター				
		73	大型専門店				
		74	商店街				
		75	コンビニエンスストア				
		76	その他の店				
		杵築市内の店舗		日出町内の店舗			
		77	スーパー	117	スーパー		
		78	ディスカウントストア	118	ディスカウントストア		
		79	ホームセンター	119	ホームセンター		
		80	大型専門店	120	大型専門店		
		81	商店街	121	商店街		
		82	コンビニエンスストア	122	コンビニエンスストア		
		83	その他の店	123	その他の店		
		宇佐市内の店舗		九重町内の店舗			
		84	スーパー	124	スーパー		
		85	ディスカウントストア	125	コンビニエンスストア		
		86	ホームセンター	126	その他の店		
		87	大型専門店				
		88	商店街				
		89	コンビニエンスストア				
		90	道の駅				
		91	その他の店				
		佐伯市内の店舗		玖珠町内の店舗			
40	スーパー	84	スーパー	127	スーパー		
41	ディスカウントストア	85	ディスカウントストア	128	ディスカウントストア		
42	ホームセンター	86	ホームセンター	129	ホームセンター		
43	大型専門店	87	大型専門店	130	大型専門店		
44	商店街	88	商店街	131	商店街		
45	コンビニエンスストア	89	コンビニエンスストア	132	コンビニエンスストア		
46	道の駅	90	道の駅	133	道の駅		
47	その他の店	91	その他の店	134	その他の店		

令和4年度大分県中心市街地等消費者動向調査報告書

令和5年2月発行

編集・発行者 大分県商工観光労働部商業・サービス業振興課

〒870-8501

大分県大分市大手町 3-1-1

TEL 097-506-3284(直通)

集計委託先 株式会社西日本リサーチ・センター

〒810-0021

福岡県福岡市中央区今泉 1-4-1

TEL 092-751-7968